

平成 20 年度第 3 回丸子地域協議会会議次第

平成 20 年 6 月 13 日(金)午後 1 時 30 分から
丸子地域自治センター 3 階 第 2 会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

(1) 上田市公共交通活性化プランについて

[資料 1]

6 月 13 日(金)午後 2 時 30 分から
丸子地域自治センター 4 階 講堂

4 協議事項

(1) 平成 20 年度わがまち魅力アップ応援事業プレゼンテーション選考

[別紙資料]

5 その他

6 閉 会

長野県上田地域における 公共交通活性化プラン

上田市内を運行しているバス

一般路線バス	菅平高原線、長野病院線、 室賀線、塩田線、長久保線 信州の鎌倉シャトルバス、いで湯バス
生活交通路線バス (国・県補助路線)	真田線、佐久上田線、 青木線、鹿教湯線
廃止路線代替バス (上田市補助路線)	傍陽線、豊殿線、祢津線、 県道川西線、西丸子線、丸子線、 中仙道線、武石線、(渋沢線)
コミュニティバス	上田地域 :循環バス、オレンジバス
	丸子地域 :循環バス
	真田地域 :ふれあいバス
	武石地域 :デマンド交通

2. 損益

単位：千円

	17年度	18年度	増減
一般路線バス	17,923	24,506	6,583
生活交通路線バス	53,554	59,076	5,522
廃止路線代替バス	63,719	58,223	5,496
コミュニティバス	44,112	53,367	9,255
計	179,308	195,172	15,864

廃止路線代替バスの損益減少は、運行本数の削減及び運行単価の見直しによるもの。

バス運行状況

1. 輸送人員

単位：人

	17年度	18年度	増減
一般路線バス	260,150	235,530	24,620
生活交通路線バス	716,567	671,503	45,064
廃止路線代替バス	219,229	160,822	58,407
コミュニティバス	90,959	93,184	2,225
計	1,286,905	1,161,039	125,866

公共交通活性化プラン策定の目的

平成18年3月に1市2町1村が合併して誕生した上田市の公共交通は、合併前の行政区域ごとに構築されたもの。



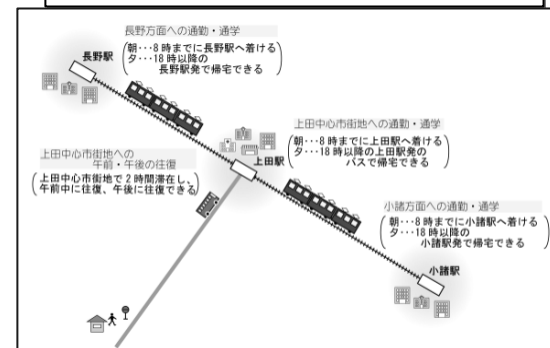
既存の公共交通体系を活用し、誰もが公平に利用できる公共交通体系となるよう見直しを行い、公共交通の利用促進を図る。

公共交通活性化プラン策定検討会委員構成

交通事業者	上電バス㈱、千曲バス㈱、J Rバス関東㈱、 しなの鉄道㈱、上田電鉄㈱、 長野県タクシー協会上小支部
学識経験者	信州大学工学部教授
関係団体	上小圏域障害者総合支援センター、上田商工会議所、 上田観光コンベンション協会、上田市婦人団体連絡協議会 豊殿地区循環バス運営委員会、上田市福寿クラブ連合会、 上田市身体障害者福祉協会、上小高等学校校長会
地域代表	上田市自治会連合会（上田、丸子、真田、武石各地域代表）
行政機関	国土交通省北陸信越運輸局、長野県、上田市

公共交通整備の基本サービスレベル

長野方面・小諸方面への通勤・通学が可能
上田中心市街地への通勤・通学が可能
上田中心市街地への午前・午後の往復が可能



公共交通整備の基本方針

誰もが公平に利用できる公共交通体系の構築

効率的な公共交通体系の構築

鉄道との連携を図る公共交通体系の構築

地域づくりを支援する公共交通体系の構築

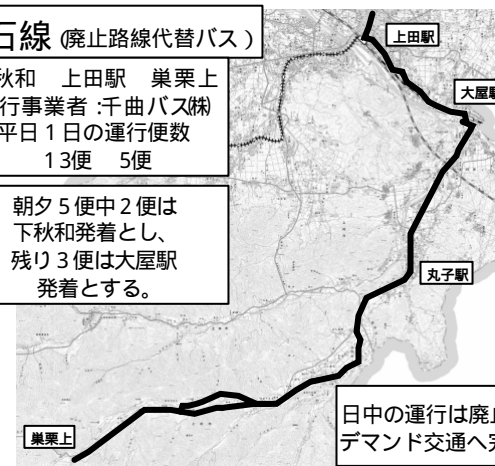
利用者主体の公共交通体系の構築

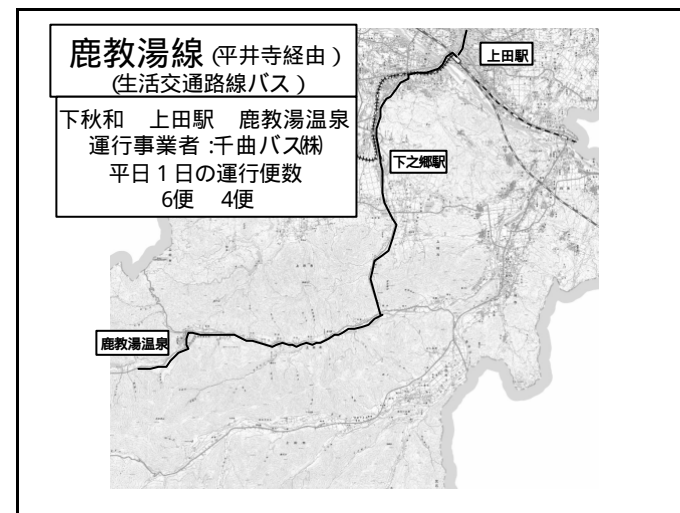
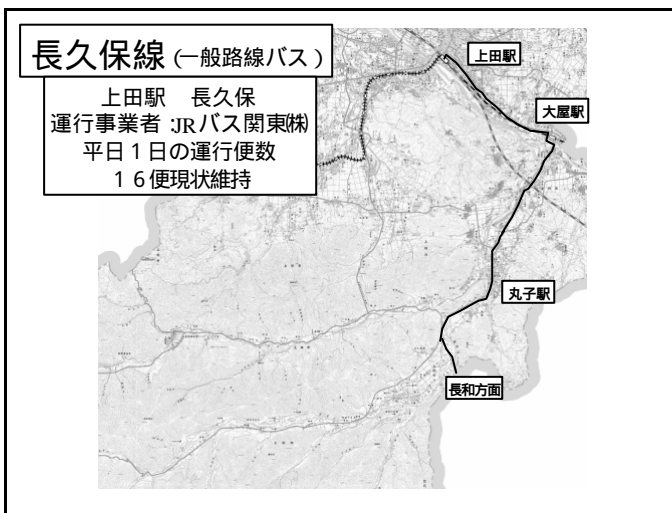
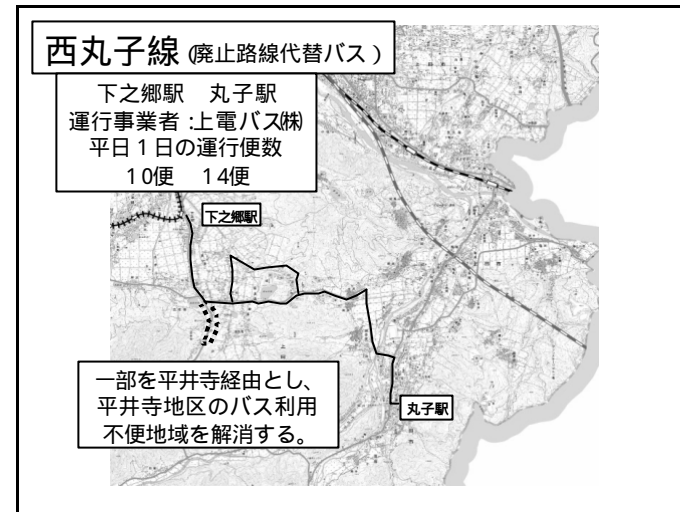
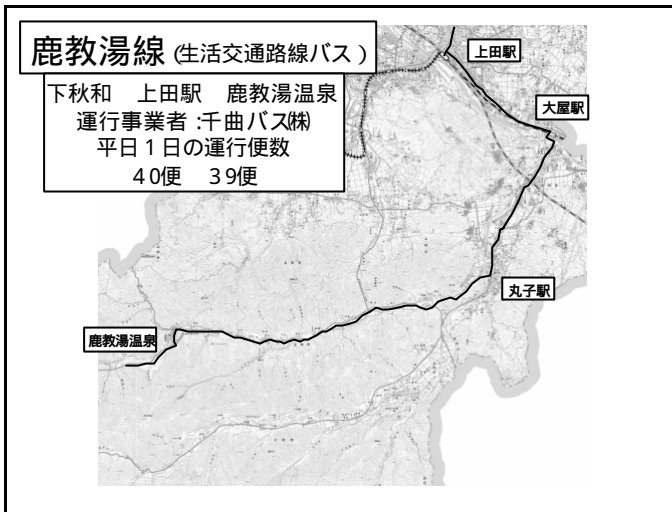
武石線（廃止路線代替バス）

下秋和 上田駅 巢栗上
運行事業者：千曲バス㈱
平日1日の運行便数
13便 5便

朝夕5便中2便は
下秋和発着とし、
残り3便は大屋駅
発着とする。

日中の運行は廃止とし、
デマンド交通へ完全移行





中仙道線 (廃止路線代替バス)

大屋駅 芦田
 運行事業者:東信観光バス(株)
 平日1日の運行便数
 20便 19便

大屋駅
立科方面

コミュニティバス

【上野地域】 循環バス
 高崎市、前橋市、沼田市の各町内を循環するバス。高崎市、前橋市、沼田市の各町内を循環するバス。高崎市、前橋市、沼田市の各町内を循環するバス。

【上野地域】 オレンジバス
 高崎市、前橋市、沼田市の各町内を循環するバス。高崎市、前橋市、沼田市の各町内を循環するバス。

【丸子地域】 循環バス
 高崎市、前橋市、沼田市の各町内を循環するバス。高崎市、前橋市、沼田市の各町内を循環するバス。

【丸子地域】 ふれあいバス
 高崎市、前橋市、沼田市の各町内を循環するバス。高崎市、前橋市、沼田市の各町内を循環するバス。

【丸子地域】 デマンド交通スマイル号
 高崎市、前橋市、沼田市の各町内を循環するバス。高崎市、前橋市、沼田市の各町内を循環するバス。

【丸子地域】 自主運行バスあやめ号
 高崎市、前橋市、沼田市の各町内を循環するバス。高崎市、前橋市、沼田市の各町内を循環するバス。

丸子線 (廃止路線代替バス)

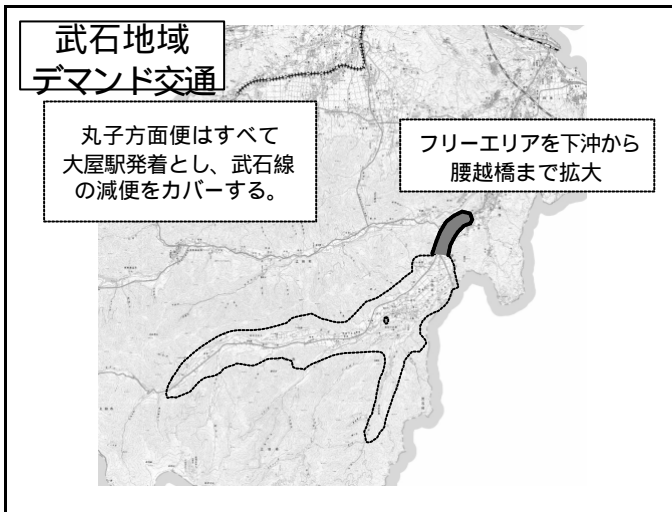
丸子駅 芦田
 運行事業者:東信観光バス(株)
 平日1日の運行便数
 10便 12便

丸子駅
立科方面

丸子地域循環バス

循環頻度を高めるため、東回り、西回りにコースを分割。バス利用不便地域を解消するため、ルートを見直し。

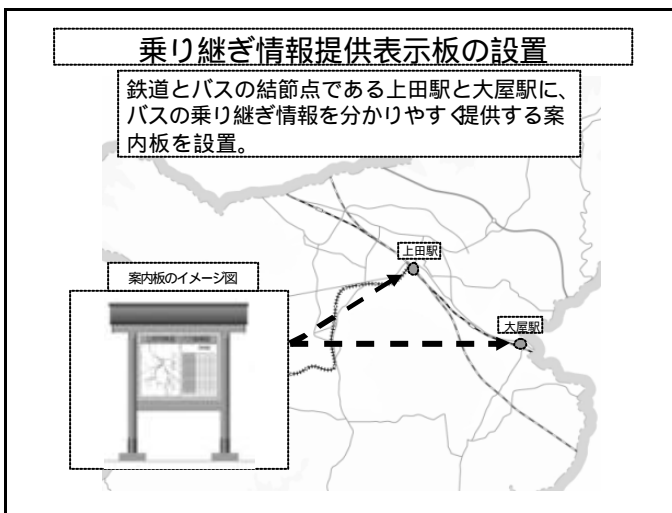
大屋駅
丸子駅



公共交通体系再構築実施プログラム

基本方針	実施の方向性	実施内容	実施年度	乗客数(千人)		営業収入(百万円)		経常損失(百万円)		効果測定
				2018年度	2019年度	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度	
路線別再構築	武石線	丸子方面	2018	1.2	1.2	100	100	0	0	
		武石線	2018	1.2	1.2	100	100	0	0	
		大屋駅	2018	1.2	1.2	100	100	0	0	
		腰越橋	2018	1.2	1.2	100	100	0	0	
		下沖	2018	1.2	1.2	100	100	0	0	
		2019	1.2	1.2	100	100	0	0		
		2020	1.2	1.2	100	100	0	0		
		2021	1.2	1.2	100	100	0	0		
		2022	1.2	1.2	100	100	0	0		
		2023	1.2	1.2	100	100	0	0		
路線別再構築	大屋線	大屋駅	2018	1.2	1.2	100	100	0	0	
		腰越橋	2018	1.2	1.2	100	100	0	0	
		下沖	2018	1.2	1.2	100	100	0	0	
		2019	1.2	1.2	100	100	0	0		
		2020	1.2	1.2	100	100	0	0		
		2021	1.2	1.2	100	100	0	0		
		2022	1.2	1.2	100	100	0	0		
		2023	1.2	1.2	100	100	0	0		
		2024	1.2	1.2	100	100	0	0		
		2025	1.2	1.2	100	100	0	0		

*1: 利用状況を検証し、今後の方向性を検討していく。
*2: 実施運行の結果により今後の方向性を検討する。

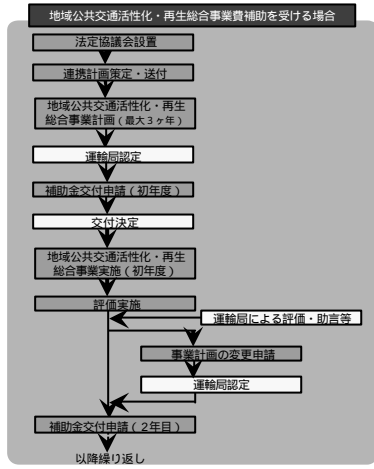


公共交通体系再構築実施プログラム

基本方針	実施の方向性	実施内容	実施年度	乗客数(千人)		営業収入(百万円)		経常損失(百万円)		効果測定
				2018年度	2019年度	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度	
路線別再構築	大屋線	大屋駅	2018	1.2	1.2	100	100	0	0	
		腰越橋	2018	1.2	1.2	100	100	0	0	
		下沖	2018	1.2	1.2	100	100	0	0	
		2019	1.2	1.2	100	100	0	0		
		2020	1.2	1.2	100	100	0	0		
		2021	1.2	1.2	100	100	0	0		
		2022	1.2	1.2	100	100	0	0		
		2023	1.2	1.2	100	100	0	0		
		2024	1.2	1.2	100	100	0	0		
		2025	1.2	1.2	100	100	0	0		
路線別再構築	武石線	丸子方面	2018	1.2	1.2	100	100	0	0	
		武石線	2018	1.2	1.2	100	100	0	0	
		大屋駅	2018	1.2	1.2	100	100	0	0	
		腰越橋	2018	1.2	1.2	100	100	0	0	
		下沖	2018	1.2	1.2	100	100	0	0	
		2019	1.2	1.2	100	100	0	0		
		2020	1.2	1.2	100	100	0	0		
		2021	1.2	1.2	100	100	0	0		
		2022	1.2	1.2	100	100	0	0		
		2023	1.2	1.2	100	100	0	0		

*1: 利用状況を検証し、今後の方向性を検討していく。
*2: 実施運行の結果により今後の方向性を検討する。

事業実施スケジュール



公共交通体系再構築実施プログラム

基本方針	施策の内容	具体的対応		施策実施主体	需要推計			市補助金額(千円)			施策実施予定					
		施策対象	内容		18年度	想定	増減	18年度	想定	増減	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度以降		
鉄道との連携を図る公共交通体系の構築	鉄道を起終点に変更(朝夕は変更無)	室賀線	起点を小泉バス停に変更及びダイヤ変更(朝夕は上田駅直通)	千曲バス	29,870	26,925	-2,945						*1			
		武石線	起点を大屋駅に変更及びダイヤ変更(朝夕の一部は上田駅直通) 昼間の運行便はデマンド交通へ移行する。	上田市 千曲バス	25,694	23,741	-1,953	5,521	4,123	-1,398				*1		
誰もが公平に利用できる公共交通体系の構築	幹線バス路線ダイヤを、基本サービスレベルを満たすよう変更	菅平高原線	19:50上田駅発の便を設定する。	上電バス	127,682	131,332	3,650						*1			
		真田線	しなの鉄道との接続によるダイヤ変更	上電バス	71,418	61,763	-9,655							*1		
		鹿教湯線	朝、上田駅方面への便の統合 16:05丸子駅前発を鹿教湯車庫発に変更	千曲バス	191,836	194,136	2,300							*1		
		南木線	しなの鉄道との接続によるダイヤ変更	千曲バス	97,455	100,400	2,945							*1		
		長久保線	ダイヤ変更(朝の時刻変更、午後早い時間帯に便を設定)	JRバス関東	66,065	68,620	2,555							*1		
		再編対象路線、幹線バス路線以外のバス路線ダイヤを、基本サービスレベルを満たすように変更	黒道川西線	ダイヤ変更	上田市 千曲バス	4,920	5,219	299	6,523	6,410	-113				*1	
			塩田線	中心市街地への通勤通学が可能なようにダイヤ変更	上電バス	26,730	27,322	592							*1	
			西丸子線	平井寺地区にバス停を新設 丸子への通学利用の利便性を高めるようダイヤ変更	上田市 上電バス	23,924	25,568	1,644	5,764	14,275	8,511				*1	
			平井寺経由鹿教湯線	15:20鹿教湯車庫発を削減	千曲バス	24,992	24,262	-730							*1	
			長野病院線	朝の便、しなの鉄道との接続によるダイヤ変更 夕方、4便を増便	上電バス	46,229	51,704	5,475							*1	
傍陽線	基本サービスレベルを満たすようダイヤ変更 入替井沢方面、10時~11時台に1往復増便		上田市 上電バス	39,698	41,815	2,117	11,689	13,494	1,805				*1			
豊殿線	基本サービスレベルの満足及びしなの鉄道との接続によるダイヤ変更		上田市 上電バス	16,772	16,772	0	9,532	9,532	0				*1			
柳津線	しなの鉄道との接続によるダイヤ変更		上田市 千曲バス	28,627	26,802	-1,825	9,910	8,665	-1,255				*1			
佐久上田線	中心市街地から通勤通学で帰宅できるようにダイヤ変更		千曲バス	24,820	24,820	0							*1			
中仙道線	しなの鉄道との接続によるダイヤ変更		上田市、立科町 東信観光バス	16,462	15,866	-596	7,043	6,565	-478				*1			
再抽出した公共交通不能地域、不便地域解消	真田本原地区 サンライン沿線 丸子循環バス	傍陽線の一部便を本原地区及びサンラインへ迂回させる	上田市 上電バス	4,725	5,219	494	2,240	2,160	-80				*1			
		ルートの変更及びダイヤの変更	上田市 千曲バス	8,729	12,506	3,777	8,349	11,083	2,734				*2			
料金体系の適正化	オレンジバス	オレンジバスの運行は当面現状維持	上田市 交通事業者	39,990	39,990	0	12,610	12,610	0				オレンジバスが市民に浸透し始めた実情を踏まえ、当面は現状の運行形態を維持する。(一部ルート変更)			
効率的な公共交通体系の構築	利用率の低い路線への対応	黒道川西線 長野病院線 豊殿線 中仙道線 丸子線	「基本サービスレベル」に対応したダイヤ改善 ダイヤ改善後の利用状況により「存続」「変更」「廃止」を含めた検討	上田市 上電バス 千曲バス 東信観光バス									当該路線に対しては、「基本サービスレベル」に対応するダイヤ改善を施し、当面はダイヤ改善後の利用状況を判断し、「存続」「変更」「廃止」の方向性を検討する。			
		車両の小型化	黒道川西線 豊殿線 丸子線 中仙道線	「基本サービスレベル」に対応したダイヤ改善 当該路線の運行車両は小型車両での運行とする	上田市 上電バス 千曲バス 東信観光バス								当該路線に対しては、「基本サービスレベル」に対応するダイヤ改善を施し、当面はダイヤ改善後の利用状況を判断し、「存続」となった時点で、交通事業者と協議しつつ、順次車両小型化を行っている。			
	車両配置非効率路線への対応	黒道川西線 豊殿線 丸子線 中仙道線	「基本サービスレベル」に対応したダイヤ改善 配置車両数の削減	上田市 上電バス 千曲バス 東信観光バス									今後、交通事業者と協議しながら、実施可能路線を再検討し、出来ることから順次実施を検討する。			
	既存ストックの活用	各地域	現在運行中のショッピングセンターお買物無料巡回バスを活用 旅館等の宿泊施設が所有するバスを用いて、地域内におけるバス運行を検討する。	各地域他									中心市街地活性化の視点及びJR跡地との関連から、運行主体企業と協議し、更なる一般利用促進を目指す。 交通事業者と調整を図りつつ、各組織において実施可能性を協議するところから始める。また、車両等の活用においては十分な安全性を確認する。			

*1: 利用状況を検証し、今後の方向性を検討していく。
*2: 実証運行の結果により今後の方向性を検討する。

基本方針	施策の内容	具体的な対応		施策実施主体	需要推計			市補助金額(千円)			施策実施予定					
					18年度	想定		18年度	想定		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度以降		
							増減			増減						
地域づくりを支援する公共交通体系の構築	中心市街地活性化支援	市街地循環バス	ルート及びダイヤの変更	上田市 交通事業者	26,805	29,593	2,788	18,063	30,372	12,314		実施運行			*2	
	埴田地域まちづくり支援	埴田教育施設集積地	埴田教育施設集積地において、大学前駅と各教育施設を結ぶシャトルバスの運行	上田市 交通事業者		2,321	2,321		2,511	2,511		実施運行			*2	
	埴田地域まちづくり支援	ふれあいバス	現在、途中乗降不可能なふれあいバスを途中乗降可能とした運行を始める。	上田市	7,452	7,452	0	3,361	3,361	0					*1	
	新たな試みへの配慮	武石デマンド交通	デマンドエリアを拡大する。 大屋・丸子方面への便を全て大屋駅発着とする。 ただし、依田診療所方面は従来どおりとする。	武石商工会	10,208	12,431	2,223	9,618	12,025	2,407		エリア拡大			*1	
		豊野地区及び埴田自主運行システムを導入する地区	豊野地区及び埴田自主運行システムを導入する地区 埴田自主運行方式導入地区に対する行政支援制度の拡大	上田市								豊野地区の行政支援		埴田自主運行方式導入地区への拡大		
利用者主体の公共交通体系の構築	高齢者への配慮	各バス路線	バス料金の削減制度	上田市												
		高齢者向け教室等が行われている施設と各公共交通機関	公共交通利用促進に関するキャンペーン	上田市												
		各公共交通機関	高齢者運転免許自主返納支援事業	上田市												
		各バス路線	バリアフリー車両の導入	上田市 交通事業者												
		各公共交通機関	バリアフリー交通施設の整備	上田市 交通事業者												
	公共交通利用者への配慮	各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者												
		各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者												
		各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者												
		各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者												
		各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者												
	公共交通利用者への配慮	各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者												
		各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者												
		各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者												
		各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者												
		各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者												
公共交通利用者への配慮	各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者													
	各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者													
	各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者													
	各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者													
	各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者													
公共交通利用者への配慮	各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者													
	各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者													
	各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者													
	各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者													
	各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者													
公共交通利用者への配慮	各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者													
	各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者													
	各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者													
	各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者													
	各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者													
公共交通利用者への配慮	各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者													
	各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者													
	各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者													
	各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者													
	各バス路線	バス待合台、施設の整備	上田市 交通事業者													
需要推計値と市補助金額合計					961,103	989,025	27,922	110,218	141,073	30,855						

*1: 利用状況を検証し、今後の方向性を検討していく。
*2: 実証運行の結果により今後の方向性を検討する。

「乗って残そう！」我が地域の公共交通 乗らなくちゃなくなっちゃうよ！！

【需要推計の条件】

- 年〇回利用の推計値は地域の15歳から64歳までの通勤通学者数で計算。
- 「地域の人がある路線に年間何往復乗ったら、これだけ需要が増える！！」との算出をした。
- ただし、バス路線は他地域に跨るため、地域ごとに需要を算出した。下記に示す需要は路線としての各地域合計需要である。
- 利用回数は「行き帰りの1往復」を基本として計算した。

＜丸子地域循環バス＞

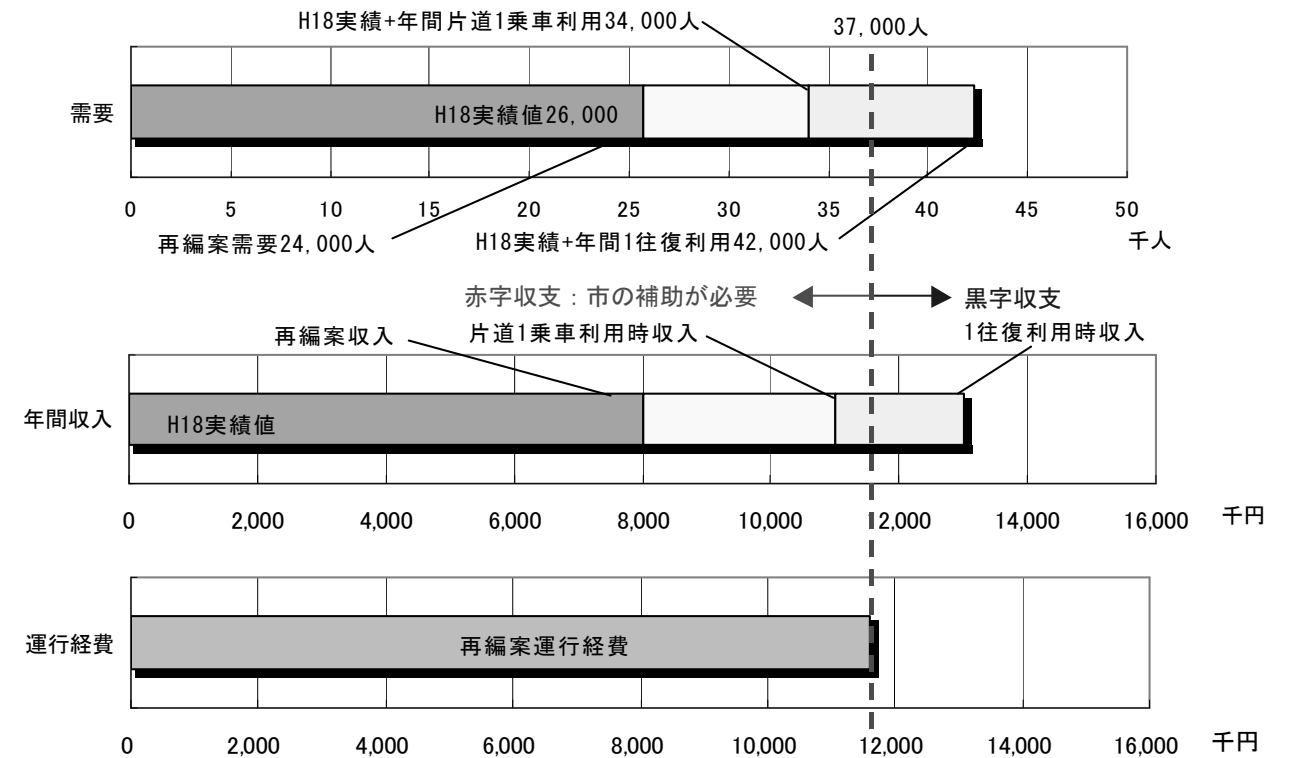
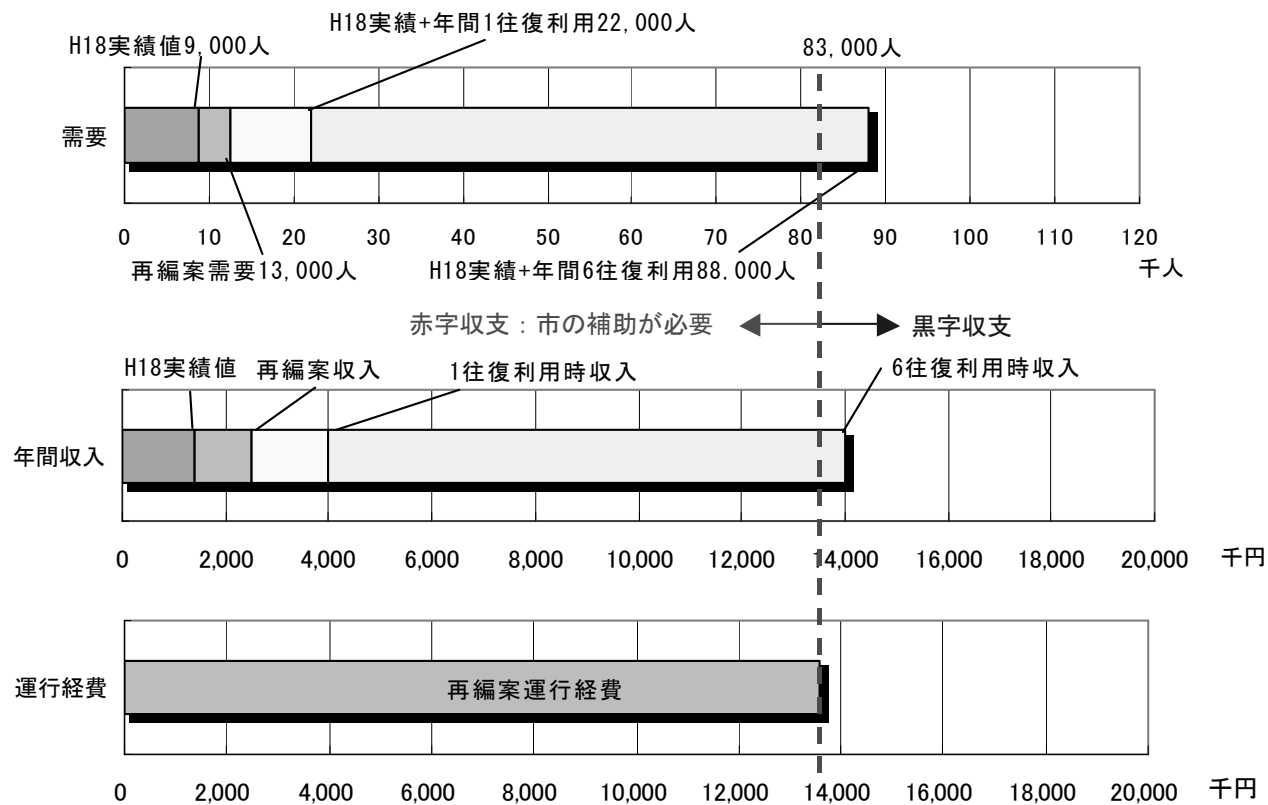
- 沿線地域人口：約7,000人（丸子地域）
- H18年度市補助額は約800万円であり、丸子地域循環バスは年間800万円の赤字運行である。
- 再編案実行後の赤字額は年間約1,110万円と予測される。
- 1,110万円の運行経費を運行収入で賄うためにはあと年間6往復の利用が必要である。

需要・運賃収入				再編案 運行経費 (千円)	運行経費を運賃収入で まかなうためには		沿線の65歳以上の人が 年に1往復利用したら		沿線の65歳以上の人が 年に6往復利用したら	
平成18年度実績		再編案実行後			必要 年間需要 (千人)	不足需要(千人) H18-必要需要	需要 (千人)	運賃収入 (千円)	需要 (千人)	運賃収入 (千円)
利用者数 (千人)	運賃収入 (千円)	需要 (千人)	運賃収入 (千円)							
9	1,400	13	2,500	83	74	22	4,000	88	14,000	
約800万円の赤字		約1,110万円の赤字		年間6往復の利用が必要		約960万円の赤字				

＜武石線＞

- 沿線地域人口：約9,000人（内武石地域：2,000人 丸子地域：7,000人）
- H18年度市補助額は約550万円であり、武石線は年間550万円の赤字運行である。
- 再編案実行後の赤字額は年間約420万円と予測される。
- 420万円の赤字額を運行収入で賄うためにはあと年間片道1乗車～1往復の利用が必要である。

需要・運賃収入				再編案 運行経費 (千円)	運行経費を運賃収入で まかなうためには		沿線の15歳～64歳の人 が年に1往復利用したら		沿線の15歳～64歳の人 が年に片道1乗車利用したら	
平成18年度実績		再編案実行後			必要 年間需要 (千人)	不足需要(千人) H18-必要需要	需要 (千人)	運賃収入 (千円)	需要 (千人)	運賃収入 (千円)
利用者数 (千人)	運賃収入 (千円)	需要 (千人)	運賃収入 (千円)							
26	8,000	24	7,400	37	11	42	13,000	34	11,000	
約550万円の赤字		約420万円の赤字		年間片道1乗車～1往復の利用が必要		約140万円の黒字		約60万円の赤字		

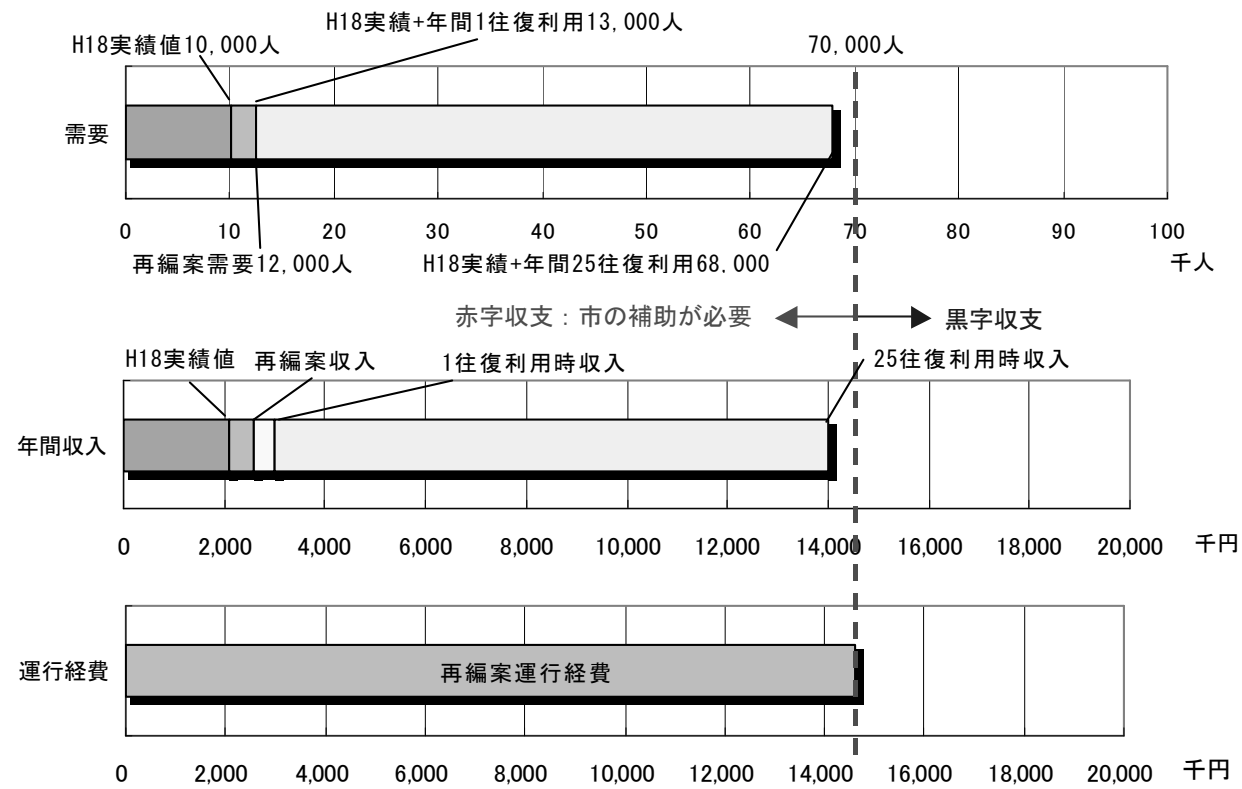


「乗って残そう！」我が地域の公共交通 乗らなくちゃなくなっちゃうよ！！

＜武石デマンド＞

- 沿線地域人口：約 1,000 人（武石地域）
- H18 年度市補助額は約 960 万円であり、武石デマンドは年間 960 万円の赤字運行である。
- 再編案実行後の赤字額は年間約 1,200 万円と予測される。
- 1,200 万円の運行経費を運行収入で賄うためには年間月 2 往復ずつの利用が必要である。

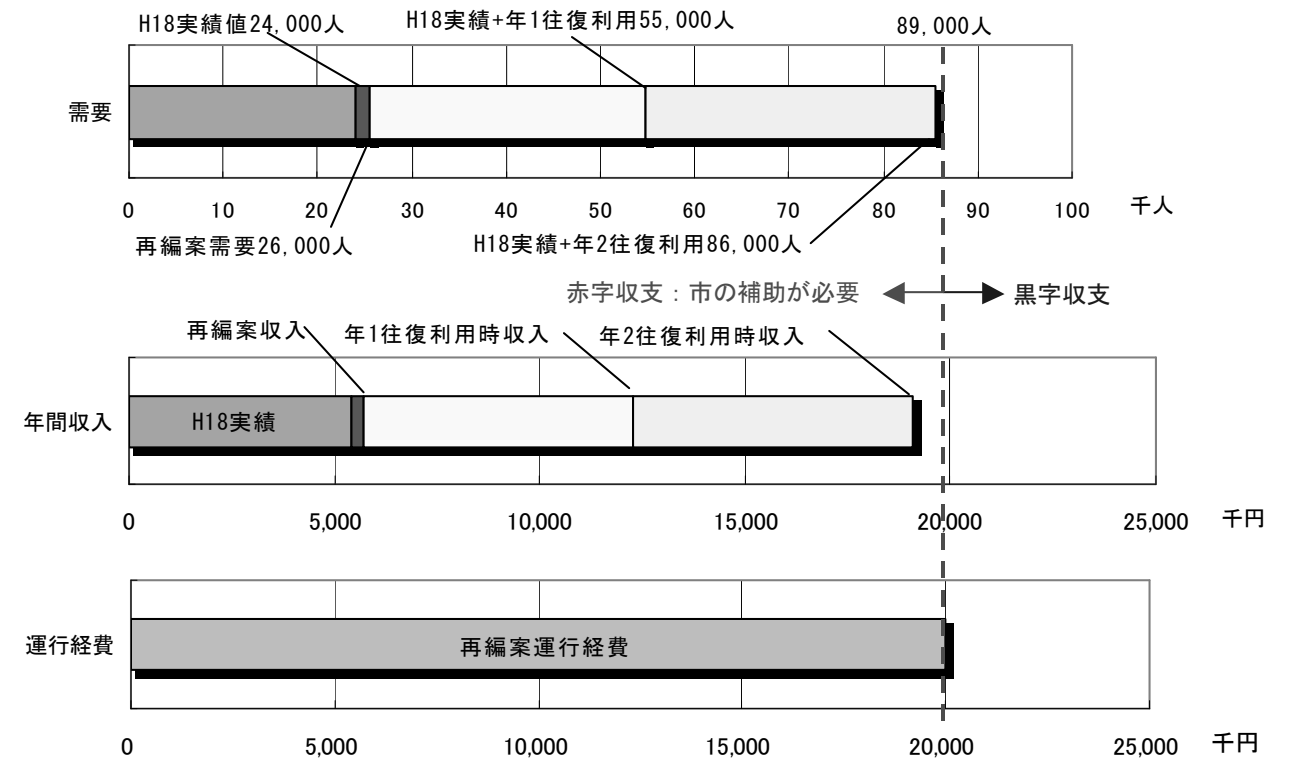
需要・運賃収入				再編案 運行経費 (千円)	運行経費を運賃収入で まかなうためには		沿線の65歳以上の人が 年に1往復利用したら		沿線の65歳以上の人が 年に25往復利用したら	
平成18年度実績		再編案実行後			必要 年間需要 (千人)	不足需要(千人) H18-必要需要	需要 (千人)	運賃収入 (千円)	需要 (千人)	運賃収入 (千円)
利用者数 (千人)	運賃収入 (千円)	需要 (千人)	運賃収入 (千円)							
10	2,100	12	2,600	14,600	70	60	13	3,000	68	14,000
約960万円の赤字		約1,200万円の赤字		年間25往復(月2往復)の 利用が必要		約1,160万円の赤字				



＜西丸子線＞

- 沿線地域人口：約 15,000 人（内塩田地域：13,000 人 丸子地域：2,000 人）
- H18 年度市補助額は約 580 万円であり、西丸子線は年間 580 万円の赤字運行である。
- 580 万円の赤字額を運行収入で賄うためにはあと年間 2～3 往復の利用が必要である。

需要・運賃収入				再編案 運行経費 (千円)	運行経費を運賃収入で まかなうためには		沿線の15歳～64歳の人 が年に1往復利用したら		沿線の15歳～64歳の人 が年に2往復利用したら	
平成18年度実績		再編案実行後			必要 年間需要 (人)	不足需要(千人) H18-必要需要	需要 (人)	運賃収入 (千円)	需要 (人)	運賃収入 (千円)
利用者数 (人)	運賃収入 (千円)	需要 (人)	運賃収入 (千円)							
24	5,400	26	5,700	20,000	89	65	55	12,300	86	19,100
約580万円の赤字		約1,400万円の赤字		年間2～3往復の利用が必要		約1,100万円の赤字		約85万円の赤字		

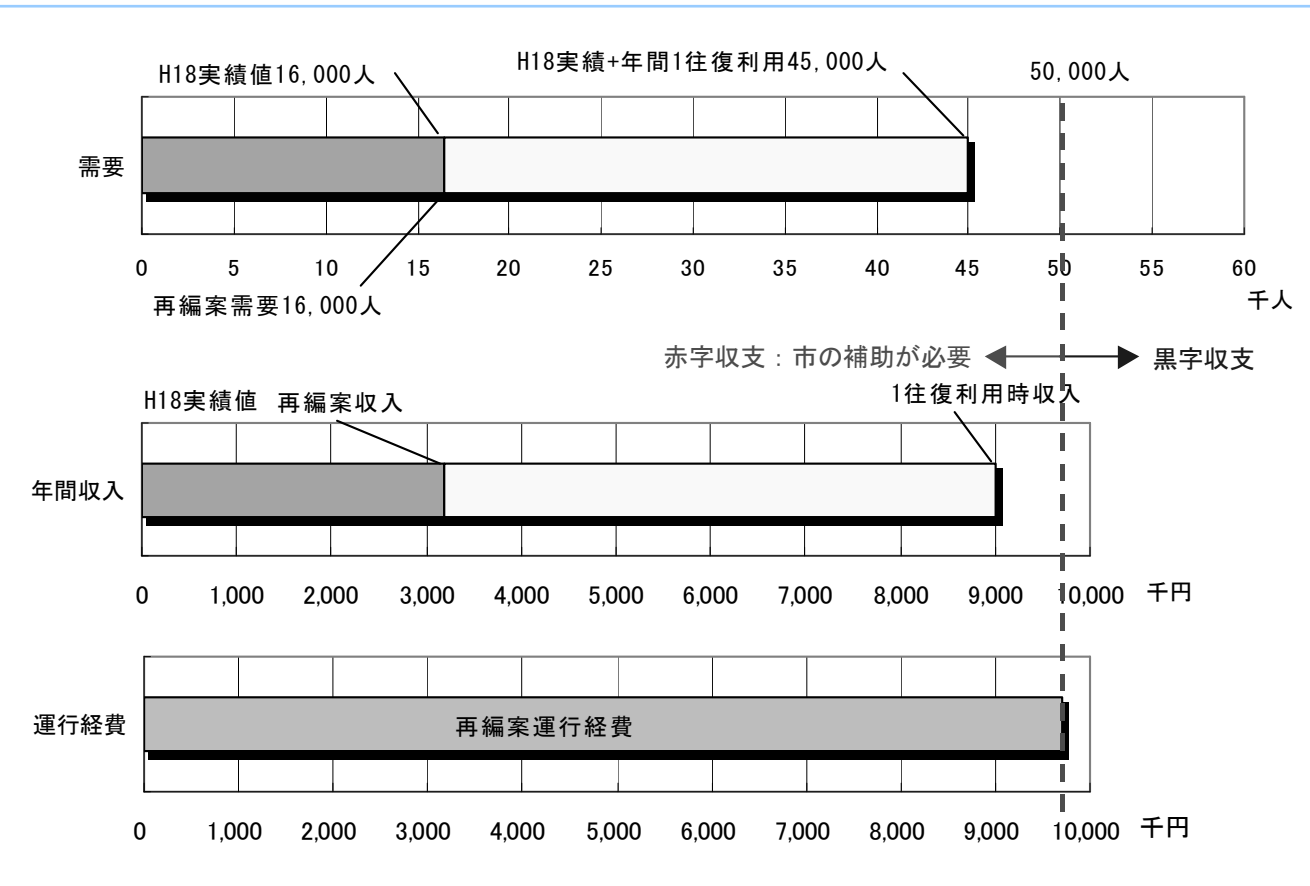


「乗って残そう！」我が地域の公共交通 乗らなくちゃなくなっちゃうよ！！

＜中仙道線＞

- 沿線地域人口：約 14,000 人（丸子地域）
- H18 年度市補助額は約 700 万円であり、中仙道線は年間 700 万円の赤字運行である。
- 再編案実行後の赤字額は年間約 660 万円と予測される。
- 660 万円の赤字額を運行収入で賄うためにはあと年間 1 往復の利用が必要である。

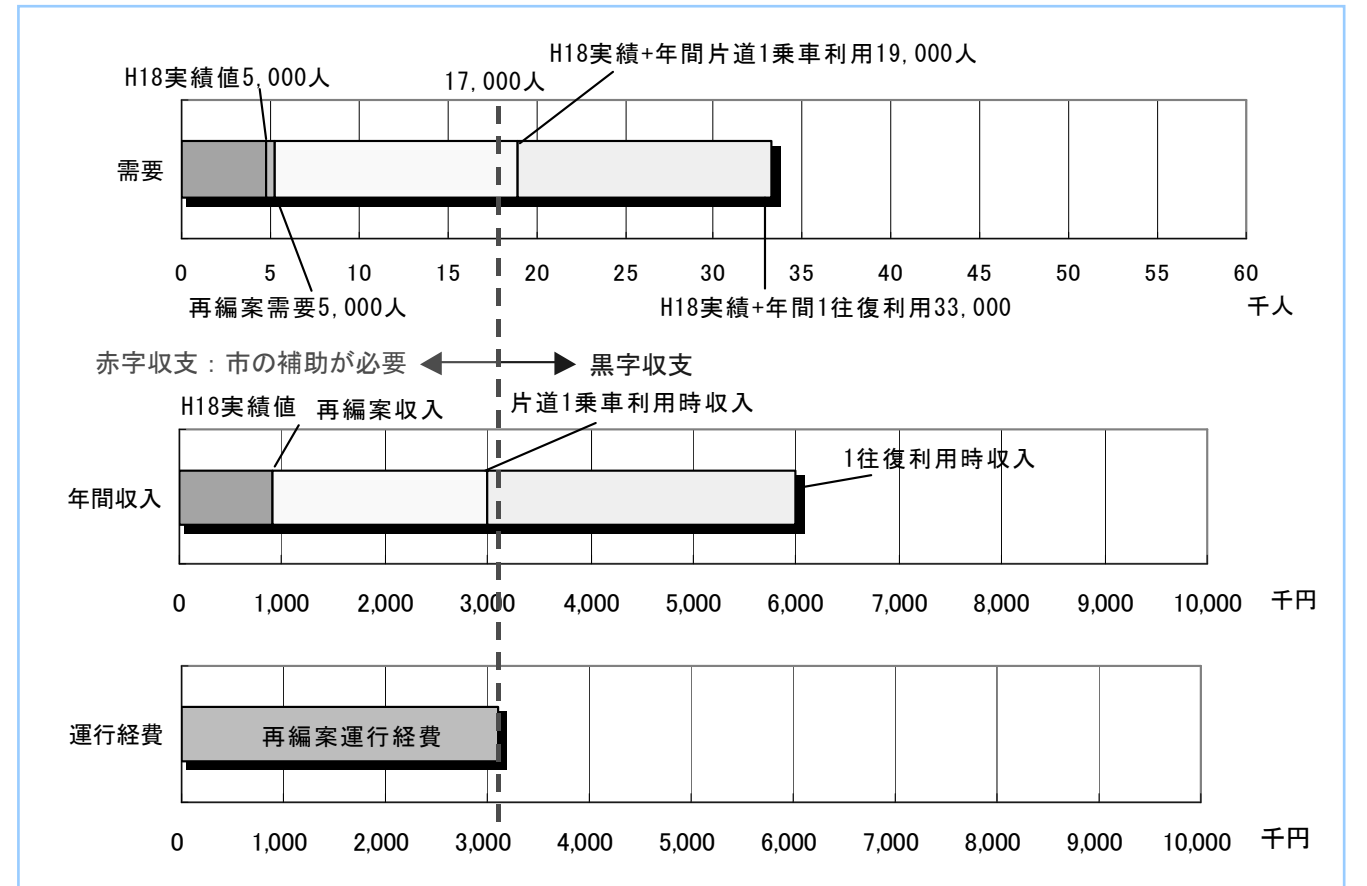
需要・運賃収入				再編案 運行経費 (千円)	運行経費を運賃収入で まかなうためには		沿線の15歳～64歳の人が 年に1往復利用したら	
平成18年度実績		再編案実行後			必要 年間需要 (千人)	不足需要(千人) H18-必要需要	需要 (千人)	運賃収入 (千円)
利用者数 (千人)	運賃収入 (千円)	需要 (千人)	運賃収入 (千円)					
16	3,200	16	3,100	50	33	45	9,000	
約700万円の赤字		約660万円の赤字		年間1往復の利用が必要		約70万円の赤字		



＜丸子線＞

- 沿線地域人口：約 14,000 人（丸子地域）
- H18 年度市補助額は約 200 万円であり、丸子線は年間 200 万円の赤字運行である。
- 再編案実行後の赤字額は年間約 200 万円と予測される。
- 200 万円の赤字額を運行収入で賄うためにはあと年間片道 1 乗車の利用が必要である。

需要・運賃収入				再編案 運行経費 (千円)	運行経費を運賃収入で まかなうためには		沿線の15歳～64歳の人が 年に1往復利用したら		沿線の15歳～64歳の人が 年に片道1乗車利用したら	
平成18年度実績		再編案実行後			必要 年間需要 (千人)	不足需要(千人) H18-必要需要	需要 (千人)	運賃収入 (千円)	需要 (千人)	運賃収入 (千円)
利用者数 (千人)	運賃収入 (千円)	需要 (千人)	運賃収入 (千円)							
5	900	5	900	17	12	33	6,000	19	3,000	
約200万円の赤字		約200万円の赤字		年間片道1乗車の利用が必要		約290万円の黒字		約10万円の赤字		

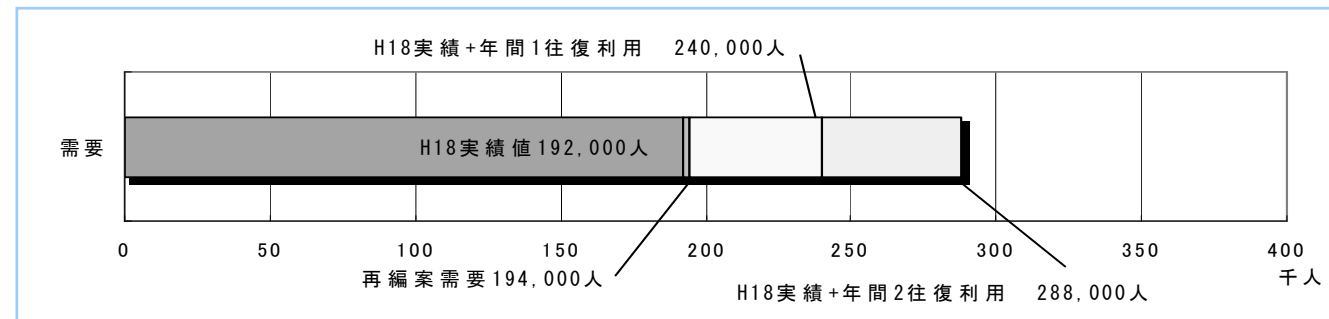


「乗って残そう！」我が地域の公共交通 乗らなくちゃなくなっちゃうよ！！

＜鹿教湯線＞

- 沿線地域人口：約 24,000 人（内中央地域：10,000 人、丸子地域：14,000 人）
- 年 1 往復利用すると約 50,000 人増加する。

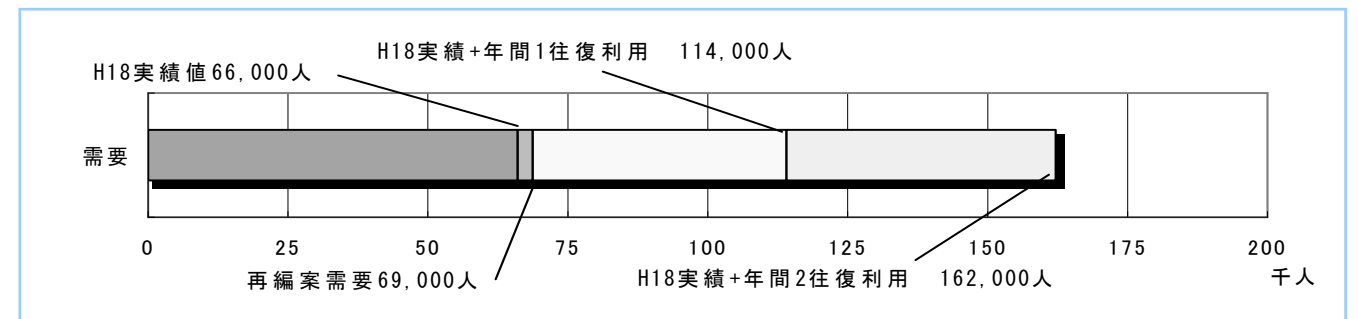
需要・運賃収入				再編案 運行経費 (千円)	運行経費を運賃収入で まかなうためには		沿線の15歳～64歳の人 が年に1往復利用したら		沿線の15歳～64歳の人 が年に2往復利用したら	
平成18年度実績		再編案実行後			必要 年間需要 (千人)	不足需要(千人) H18-必要需要	需要 (千人)	運賃収入 (千円)	需要 (千人)	運賃収入 (千円)
利用者数 (千人)	運賃収入 (千円)	需要 (千人)	運賃収入 (千円)							
192	—	194	—	—	—	240	—	288	—	



＜長久保線＞

- 沿線地域人口：約 24,000 人（内中央地域：10,000 人、丸子地域：14,000 人）
- 年 1 往復利用すると約 50,000 人増加する。

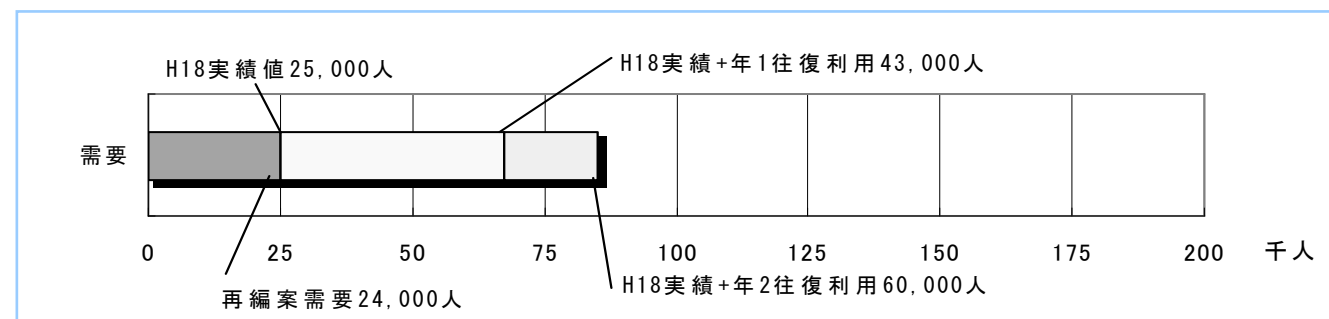
需要・運賃収入				再編案 運行経費 (千円)	運行経費を運賃収入で まかなうためには		沿線の15歳～64歳の人 が年に1往復利用したら		沿線の15歳～64歳の人 が年に2往復利用したら	
平成18年度実績		再編案実行後			必要 年間需要 (千人)	不足需要(千人) H18-必要需要	需要 (千人)	運賃収入 (千円)	需要 (千人)	運賃収入 (千円)
利用者数 (千人)	運賃収入 (千円)	需要 (千人)	運賃収入 (千円)							
66	—	69	—	—	—	114	—	162	—	



＜平井寺経由鹿教湯線＞

- 沿線地域人口：約 9,000 人（内丸子地域約 1,500 人、塩田地域 4,500 人、城南地域 3,000 人）
- 年 1 往復利用すると約 18,000 人増加する。

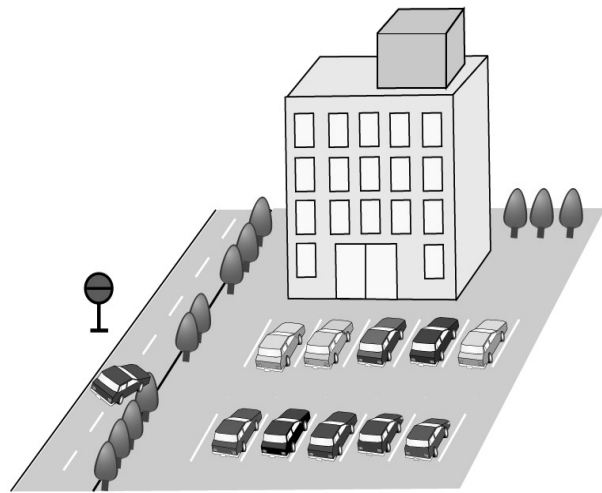
需要・運賃収入				再編案 運行経費 (千円)	運行経費を運賃収入で まかなうためには		沿線の65歳以上の人が 年に1往復利用したら		沿線の65歳以上の人が 年に2往復利用したら	
平成18年度実績		再編案実行後			必要 年間需要 (千人)	不足需要(千人) H18-必要需要	需要 (千人)	運賃収入 (千円)	需要 (千人)	運賃収入 (千円)
利用者数 (千人)	運賃収入 (千円)	需要 (千人)	運賃収入 (千円)							
25	—	24	—	—	—	43	—	60	—	



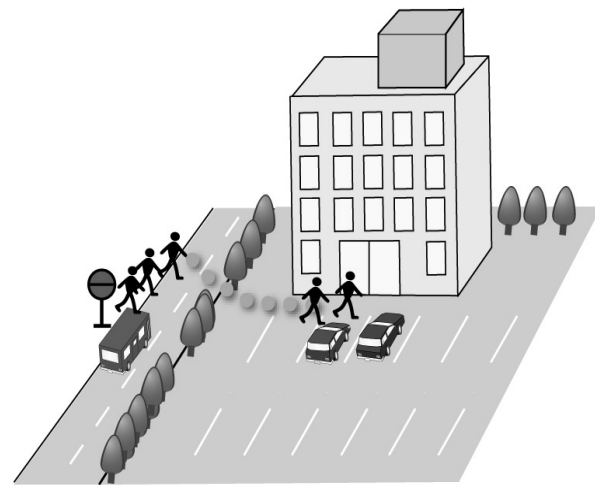
「乗って残そう！」我が地域の公共交通 乗らなくちゃなくなっちゃうよ！！

組織として取り組むノーマイカーデーへの協力

《通常は自動車で》

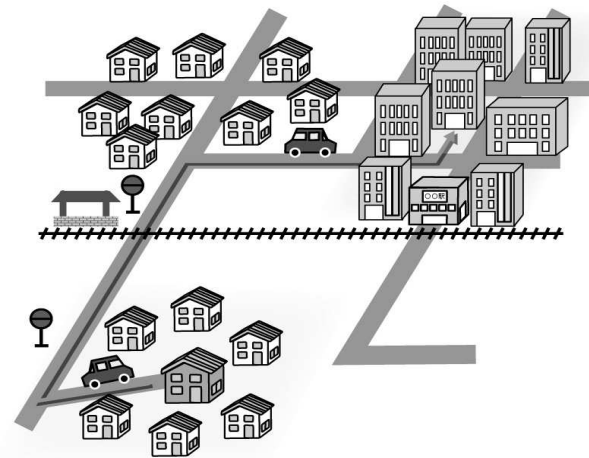


《会社として「ノーマイカーデー」を実施》

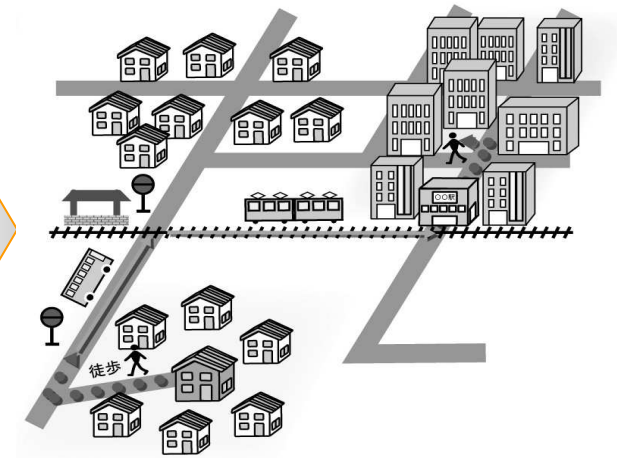


自らの意思で「たまには環境にやさしい公共交通で」

《通常は自動車で》

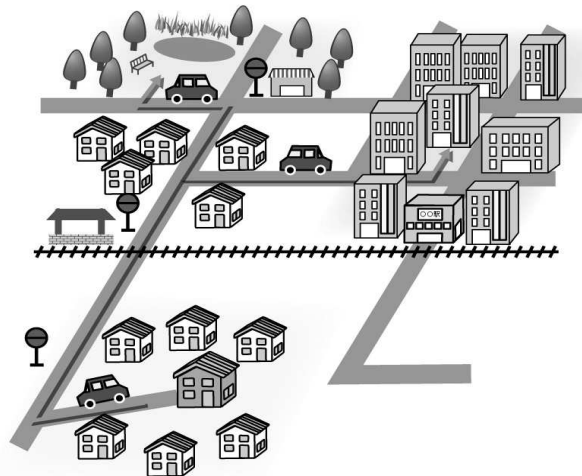


《健康のため、環境のため、たまには公共交通で》

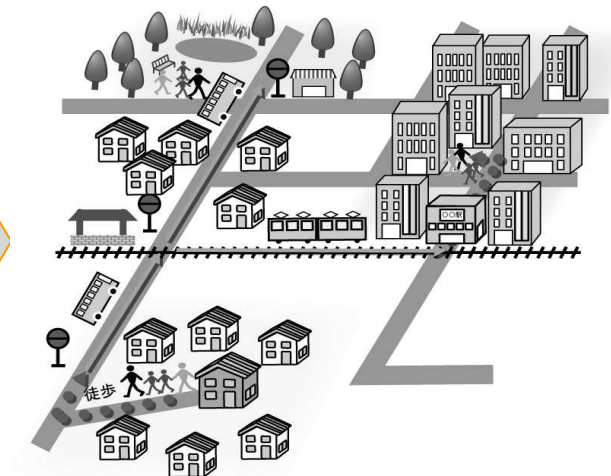


「家族での買物・行楽も、たまには公共交通で」

《通常は自動車で》



《たまには公共交通で買物、行楽に》



平成20年度わがまち魅力アップ応援事業 プレゼンテーション選考時間割表

日時:平成20年6月13日(金) 14:30~

会場:丸子地域自治センター庁舎4階 講堂

【ふるさとづくり事業】

	時間	団体名	事業名 (地域資源活用テーマ)	備考
1	14:30-14:40	辰ノ口自治会協議会	辰ノ口バイパス道路景観整備事業 (辰ノ口バイパス花桃街道)	新規
2	14:40-14:50	長瀬地区自治会連合会	史跡散策ウォーキングコースの開発 (長瀬・塩川地域の史跡を散策するウォーキング コースの整備)	新規
3	14:50-15:00	荻窪自治会(ふるさと農道桜 の会)	ふるさと農道景観整備事業 (農道に桜の木を植え育て、開花時に花見等交流 を図る)	新規
4	15:00-15:10	西内・平井自治会(地域未来 づくり委員会)	地域が育てる西内っ子育成支援活動で住民をつなく、 福祉・温泉の里山、西内地区 (西内・平井地区への定住人口を増やし、地域の活性 化させる)	新規
5	15:10-15:20	和子自治会	ふるさと景観づくりと健康の里和子自治会 (地域を一望できる里山道路を整備し、地域コミュ ニティの醸成と健康増進、景観形成を図る)	新規
休憩 5分				

【まちづくり事業】

	時間	団体名	事業名	備考
1	15:25-15:35	腰越花桃の会	花桃の苗を植え養成と維持管理	丸子地域住民提案型事業 (H18・19実践活動部門採択事業)
2	15:35-15:45	陣場地区土地利用研究委員 会有志の会	陣場台地景観整備事業	丸子地域住民提案型事業 (H18・19実践活動部門採択事業)
3	15:45-15:55	SLOW-LIFEクラブ素浪人	地域の景観整備と生活環境の継承	丸子地域住民提案型事業 (H19実践活動部門採択事業)
4	15:55-16:05	丸子史料研究会	長瀬・塩川地域の史跡マップの作成	新規
5	16:05-16:15	霊泉寺温泉の活性会を考 える会	霊泉寺温泉未来プロジェクト	新規
6	16:15-16:25	木曾義仲信州丸子会	木曾義仲ゆかり史跡整備	新規
休憩 5分				
7	16:30-16:40	荻窪炭焼きを楽しむ会	炭焼き技術を伝承し、山林を守り炭の活用を図る	丸子地域住民提案型事業 (H18・19実践活動部門採択事業)
8	16:40-16:50	箱山城・桜ロードの会	箱山城・桜ロード整備事業	新規
9	16:50-17:00	鹿教湯商工会	里山セラピー公園整備事業	丸子地域住民提案型事業 (H18企画研究部門・H19実践活動部 門採択事業)
10	17:00-17:10	お産を考える会 はぐHUG	お産と子育てに優しい街 うえだ	新規
11	17:10-17:20	丸子地域を活性化する会	かかし祭りの企画・運営事業	新規